

科目名	鍼灸臨床論Ⅱ				担当者	上田 直樹			
単位数	3	時間数	60	年次	3	履修期	前期	授業方法	講義
【講義内容・目的】									
「東洋医学臨床論」に記載されている疾患を中心に学習し、臨床において鍼灸不適応名症例を鑑別することができ、各治効理論に基づいて各疾患を治療できるように学習する。									
【実務経験】									
大学付属鍼灸院、本校付属鍼灸院での実務経験を踏まえながら講義する。									
【成績評価方法】									
定期試験の結果(100%)により評価する。									
【注意事項】									
【講義計画】									
1	導入・復習				27	老年特有の症候①			
2	肺系統の症候①				28	老年特有の症候②			
3	肺系統の症候②				29	総復習			
4	肺系統の症候③					定期試験			
5	肺系統の症候④				30	まとめ			
6	腎系統の症候①								
7	腎系統の症候②								
8	腎系統の症候③								
9	腎系統の症候④								
10	全身の症候①								
11	全身の症候②								
12	全身の症候③								
13	全身の症候④								
14	全身の症候⑤								
15	その他の症候①								
16	その他の症候②								
17	その他の症候③								
18	その他の症候④								
19	女性特有の症候①								
20	女性特有の症候②								
21	女性特有の症候③								
22	女性特有の症候④								
23	女性特有の症候⑤								
24	小児特有の症候①								
25	小児特有の症候②								
26	小児特有の症候③								
教科書	公益社団法人 東洋療法学校協会編 「新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)」 南江堂				参考書	矢野 忠 編集主幹 「図解 鍼灸療法技術ガイド 鍼灸臨床の場で 必ず役立つ実践のすべて II」 文光堂			

科目名	東洋医学臨床論				担当者	山口 大輔 / 上田 直樹			
単位数	3	時間数	60	年次	3	履修期	後期	授業方法	講義
【講義内容・目的】									
東洋医学概論・経絡経穴概論を基礎知識とし、様々な症候に対して考察・学習し応用力をつける。									
【実務経験】									
大学付属鍼灸院、本校・大学校付属鍼灸院での実務経験を踏まえながら講義する。									
【成績評価方法】									
定期試験(100%)により評価する。									
【注意事項】									
【講義計画】									
1	症状・病態に対する弁証論治と治療法(1)				26	症状・病態に対する弁証論治と治療法(26)			
2	症状・病態に対する弁証論治と治療法(2)				27	症状・病態に対する弁証論治と治療法(27)			
3	症状・病態に対する弁証論治と治療法(3)				28	症状・病態に対する弁証論治と治療法(28)			
4	症状・病態に対する弁証論治と治療法(4)				29	症状・病態に対する弁証論治と治療法(29)			
5	症状・病態に対する弁証論治と治療法(5)				30	症状・病態に対する弁証論治と治療法(30)			
6	症状・病態に対する弁証論治と治療法(6)								
7	症状・病態に対する弁証論治と治療法(7)								
8	症状・病態に対する弁証論治と治療法(8)								
9	症状・病態に対する弁証論治と治療法(9)								
10	症状・病態に対する弁証論治と治療法(10)								
11	症状・病態に対する弁証論治と治療法(11)								
12	症状・病態に対する弁証論治と治療法(12)								
13	症状・病態に対する弁証論治と治療法(13)								
14	症状・病態に対する弁証論治と治療法(14)								
15	症状・病態に対する弁証論治と治療法(15)								
16	症状・病態に対する弁証論治と治療法(16)								
17	症状・病態に対する弁証論治と治療法(17)								
18	症状・病態に対する弁証論治と治療法(18)								
19	症状・病態に対する弁証論治と治療法(19)								
20	症状・病態に対する弁証論治と治療法(20)								
21	症状・病態に対する弁証論治と治療法(21)								
22	症状・病態に対する弁証論治と治療法(22)								
23	症状・病態に対する弁証論治と治療法(23)								
24	症状・病態に対する弁証論治と治療法(24)								
25	症状・病態に対する弁証論治と治療法(25)								
	定期試験								
教科書	公益社団法人東洋療法学校協会 編 「新版 東洋医学概論」 医道の日本社				参考書				

科目名	鍼灸応用実習 I				担当者	山口大輔 / 上田直 / 米田佳奈恵			
単位数	3	時間数	120	年次	3	履修期	前期	授業方法	実習
【講義内容・目的】									
様々な講師の指導により、広い視野を持って鍼灸の理解と主義の取得を行う。また基本操作の確認と、応用的な鍼灸施術や鍼灸業界についての理解を目的とする。									
【成績評価方法】									
定期試験(70%:9/7 前期認定実技試験)と平常点(30%)で評価する。									
【注意事項】									
平常点は身だしなみを中心に評価する。									
【講義計画】									
1	(山口 1) 肩こりに対する施術	31	(米田 11) 全身と顔面部のケア⑩						
2	(山口 2) 頸肩腕症候群に対する施術	32	(米田 12) 全身と顔面部のケア⑪						
3	(山口 3) 肩関節痛に対する施術	33	(米田 13) 全身と顔面部のケア⑫						
4	(山口 4) 筋・筋膜性腰痛に対する施術	34	(米田 14) 全身と顔面部のケア⑬						
5	(山口 5) 椎間関節性腰痛に対する施術	35	(米田 15) 全身と顔面部のケア⑭						
6	(山口 6) 腰下肢痛に対する施術	36	(米田 16) 全身と顔面部のケア⑮						
7	(山口 7) 膝痛に対する施術	37	(米田 17) 全身と顔面部のケア⑯						
8	(山口 8) 運動麻痺に対する施術	38	(米田 18) 全身と顔面部のケア⑰						
9	(山口 9) 復習①	39	(米田 19) 全身と顔面部のケア⑱						
10	(山口 10) 高血圧に対する施術	40	(米田 20) 全身と顔面部のケア⑲						
11	(山口 11) 起立性調節障害に対する施術	41	(上田 1) 鍼灸の手技と業界の特色①						
12	(山口 12) 食欲不振に対する施術	42	(上田 2) 鍼灸の手技と業界の特色②						
13	(山口 13) 下肢の冷えに対する施術	43	(上田 3) 鍼灸の手技と業界の特色③						
14	(山口 14) 復習②	44	(上田 4) 鍼灸の手技と業界の特色④						
15	(山口 15) 咳嗽に対する施術	45	(上田 5) 鍼灸の手技と業界の特色⑤						
16	(山口 16) 疲労と倦怠に対する施術	46	(上田 6) 鍼灸の手技と業界の特色⑥						
17	(山口 17) 不眠に対する施術	47	(上田 7) 鍼灸の手技と業界の特色⑦						
18	(山口 18) 歯ぎしり・嘔みしめに対する施術	48	(上田 8) 鍼灸の手技と業界の特色⑧						
19	(山口 19) 総合復習①	49	(上田 9) 鍼灸の手技と業界の特色⑨						
20	(山口 20) 総合復習②	50	(上田 10) 鍼灸の手技と業界の特色⑩						
21	(米田 1) インフォームドコンセントと臨床	51	(上田 11) 鍼灸の手技と業界の特色⑪						
22	(米田 2) 全身と顔面部のケア①	52	(上田 12) 鍼灸の手技と業界の特色⑫						
23	(米田 3) 全身と顔面部のケア②	53	(上田 13) 鍼灸の手技と業界の特色⑬						
24	(米田 4) 全身と顔面部のケア③	54	(上田 14) 鍼灸の手技と業界の特色⑭						
25	(米田 5) 全身と顔面部のケア④	55	(上田 15) 鍼灸の手技と業界の特色⑮						
26	(米田 6) 全身と顔面部のケア⑤	56	(上田 16) 鍼灸の手技と業界の特色⑯						
27	(米田 7) 全身と顔面部のケア⑥	57	(上田 17) 鍼灸の手技と業界の特色⑰						
28	(米田 8) 全身と顔面部のケア⑦	58	(上田 18) 鍼灸の手技と業界の特色⑱						
29	(米田 9) 全身と顔面部のケア⑧	59	(上田 19) 鍼灸の手技と業界の特色⑲						
30	(米田 10) 全身と顔面部のケア⑨	60	(上田 20) 鍼灸の手技と業界の特色⑳						
教科書	公益社団法人 東洋療法学校協会編 「東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉第1版」 医道の日本社 公益社団法人 東洋療法学校協会編 「はりきゅう実技〈基礎編〉」第2版 医道の日本社				参考書				

科目名	鍼灸応用実習Ⅱ				担当者	上田 直樹 / 米田 佳奈恵			
単位数	2	時間数	80	年次	3	履修期	後期	授業方法	実習
【講義内容・目的】									
様々な講師の指導により、広い視野を持って鍼灸の理解と主義の取得を行う。また特殊鍼法や評価法、応用的な鍼灸施術や鍼灸業界についての理解を目的とする。									
【実務経験】									
【成績評価方法】									
定期試験(70%:12/6 後期認定実技試験)との平常点(30%:後期末まで)で評価する。									
【注意事項】									
平常点は身だしなみを中心に評価する。									
【講義計画】									
1	症候・疾患の病態把握・聴取 1				25	応用手技・特殊鍼法 1			
2	症候・疾患の病態把握・聴取 2				26	応用手技・特殊鍼法 2			
3	症候・疾患の病態把握・聴取 3				27	応用手技・特殊鍼法 3			
4	症候・疾患の病態把握・聴取 4				28	応用手技・特殊鍼法 4			
5	症候・疾患の病態把握・聴取 5				29	応用手技・特殊鍼法 5			
6	症候・疾患の病態把握・聴取 6				30	応用手技・特殊鍼法 6			
7	症候・疾患の病態把握・聴取 7				31	応用手技・特殊鍼法 7			
8	症候・疾患の病態把握・聴取 8				32	応用手技・特殊鍼法 8			
9	症候・疾患の病態把握・触知 1				33	応用手技・特殊鍼法 9			
10	症候・疾患の病態把握・触知 2				34	応用手技・特殊鍼法 10			
11	症候・疾患の病態把握・触知 3				35	応用手技・特殊鍼法 11			
12	症候・疾患の病態把握・触知 4				36	応用手技・特殊鍼法 12			
13	症候・疾患の病態把握・触知 5				37	応用手技・特殊鍼法 13			
14	症候・疾患の病態把握・触知 6				38	応用手技・特殊鍼法 14			
15	症候・疾患の病態把握・触知 7				39	応用手技・特殊鍼法 15			
16	症候・疾患の病態把握・触知 8				40	応用手技・特殊鍼法 16			
17	症候・疾患の病態把握・触知 9								
18	症候・疾患に対するアプローチ 1								
19	症候・疾患に対するアプローチ 2								
20	症候・疾患に対するアプローチ 3								
21	症候・疾患に対するアプローチ 4								
22	症候・疾患に対するアプローチ 5								
23	症候・疾患に対するアプローチ 6								
24	症候・疾患に対するアプローチ 7								
教科書					参考書	公益社団法人 東洋療法学校協会編 「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」 南江堂			

科目名	鍼灸総合演習 I					担当者	山形 泰斗 / 上田 直樹		
単位数	5	時間数	100	年次	3	履修期	前期	授業方法	演習
【講義内容・目的】									
これまでに履修した運動器系臨床医学や東洋医学の知識をより深く理解することにより鍼灸臨床で必要とされる知識を構築していく。									
【実務経験】									
【成績評価方法】									
定期試験の成績で評価する。									
【注意事項】									
【講義計画】									
1	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎①					27	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑦		
2	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎②					28	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑧		
3	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎③					29	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑨		
4	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎④					30	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑩		
5	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎⑤					31	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑪		
6	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎⑥					32	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑫		
7	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎⑦					33	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑬		
8	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎⑧					34	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑭		
9	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎⑨					35	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑮		
10	鍼灸施術に必要な東洋医学の基礎⑩					36	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用①		
11	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎①					37	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用②		
12	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎②					38	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用③		
13	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎③					39	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用④		
14	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎④					40	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑤		
15	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎⑤					41	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑥		
16	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎⑥					42	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑦		
17	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎⑦					43	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑧		
18	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎⑧					44	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑨		
19	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎⑨					45	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑩		
20	鍼灸施術に必要な西洋医学の基礎⑩					46	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑪		
21	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用①					47	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑫		
22	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用②						定期試験		
23	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用③					48	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑬		
24	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用④					49	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑭		
25	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑤					50	鍼灸施術に必要な西洋医学の応用⑮		
26	鍼灸施術に必要な東洋医学の応用⑥								
教科書						参考書			

科目名	鍼灸総合演習Ⅱ					担当者	山口 大輔 / 山形 秦斗			
単位数	5	時間数	100	年次	3	履修期	後期	授業方法	演習	
【講義内容・目的】										
これまでに履修した病態や臨床応用の知識をより深く理解することにより鍼灸臨床で必要とされる知識を構築していく。										
【実務経験】										
【成績評価方法】										
定期試験の成績で評価する。										
【注意事項】										
【講義計画】										
1	西洋医学的観点からみる鍼灸①					27	東洋医学的観点からみる鍼灸②			
2	西洋医学的観点からみる鍼灸②					28	東洋医学的観点からみる鍼灸③			
3	西洋医学的観点からみる鍼灸③					29	東洋医学的観点からみる鍼灸④			
4	西洋医学的観点からみる鍼灸④					30	東洋医学的観点からみる鍼灸⑤			
5	西洋医学的観点からみる鍼灸⑤					31	東洋医学的観点からみる鍼灸⑥			
6	西洋医学的観点からみる鍼灸⑥					32	東洋医学的観点からみる鍼灸⑦			
7	西洋医学的観点からみる鍼灸⑦					33	東洋医学的観点からみる鍼灸⑧			
8	西洋医学的観点からみる鍼灸⑧					34	東洋医学的観点からみる鍼灸⑨			
9	西洋医学的観点からみる鍼灸⑨					35	東洋医学的観点からみる鍼灸⑩			
10	西洋医学的観点からみる鍼灸⑩						定期試験			
11	西洋医学的観点からみる鍼灸⑪					36	東洋医学的観点からみる鍼灸⑪			
12	西洋医学的観点からみる鍼灸⑫					37	東洋医学的観点からみる鍼灸⑫			
13	西洋医学的観点からみる鍼灸⑬					38	東洋医学的観点からみる鍼灸⑬			
14	西洋医学的観点からみる鍼灸⑭					39	東洋医学的観点からみる鍼灸⑭			
15	西洋医学的観点からみる鍼灸⑮					40	東洋医学的観点からみる鍼灸⑮			
16	西洋医学的観点からみる鍼灸⑯					41	東洋医学的観点からみる鍼灸⑯			
17	西洋医学的観点からみる鍼灸⑰					42	東洋医学的観点からみる鍼灸⑰			
18	西洋医学的観点からみる鍼灸⑱					43	東洋医学的観点からみる鍼灸⑱			
19	西洋医学的観点からみる鍼灸⑲					44	東洋医学的観点からみる鍼灸⑲			
20	西洋医学的観点からみる鍼灸⑳					45	東洋医学的観点からみる鍼灸⑳			
21	西洋医学的観点からみる鍼灸㉑					46	東洋医学的観点からみる鍼灸㉑			
22	西洋医学的観点からみる鍼灸㉒					47	東洋医学的観点からみる鍼灸㉒			
23	西洋医学的観点からみる鍼灸㉓					48	東洋医学的観点からみる鍼灸㉓			
24	西洋医学的観点からみる鍼灸㉔					49	東洋医学的観点からみる鍼灸㉔			
25	西洋医学的観点からみる鍼灸㉕					50	東洋医学的観点からみる鍼灸㉕			
26	東洋医学的観点からみる鍼灸①									
教科書						参考書				